

病害虫発生予察注意報（第4号）

令和3年9月6日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）

作物名：カキ、カンキツ等

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 発生時期：9月～10月

4 注意報発令の根拠

- 予察灯によるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数は、伊勢原市（三ノ宮）及び小田原市（根府川）で平年より多く、8月4半旬以降、急増している。（図1、図2）。
- フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数は、南足柄市（怒田）で8月4半旬以降急増しており（図3）、小田原市（根府川）で増加傾向にある（図4）。
- カメムシ類が吸汁して増殖するヒノキ球果の劣化程度を示す吸汁痕（口針鞘数）の6地点平均数は24.1であり、山林から離脱する目安となる25に近づいている（図5）。
- 以上より、今後、チャバネアオカメムシ成虫の多くが果樹園に飛来すると考えられるため、カキ、カンキツ等の被害が多くなると予想される。

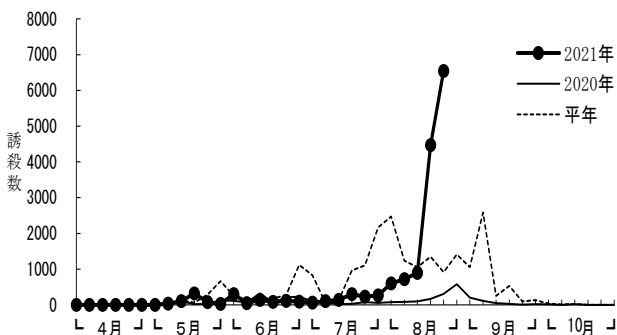


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（伊勢原市）

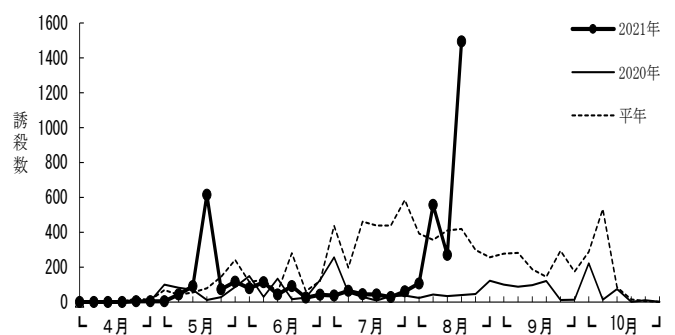


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（小田原市）

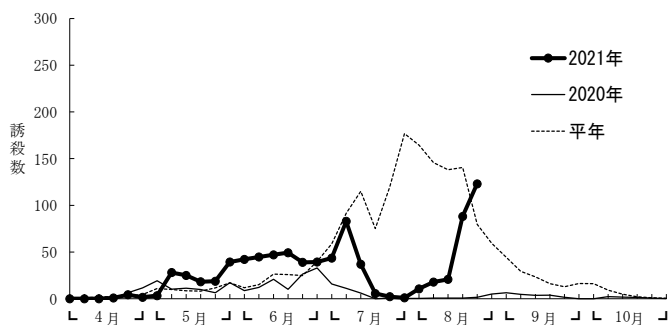


図3 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（南足柄市）

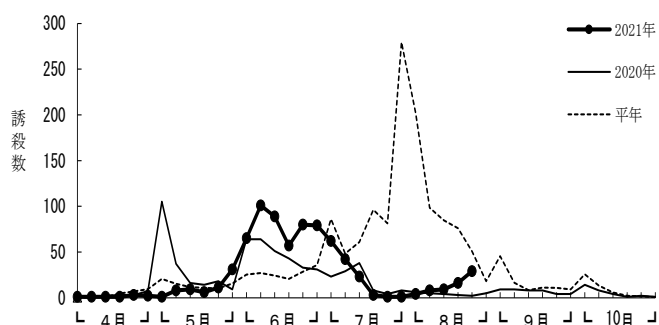


図4 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ成虫捕獲数の推移（小田原市）

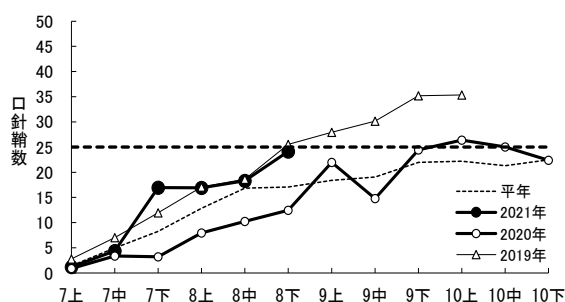


図5 ヒメ球果上の口針鞘数（ヒノキ定点6カ所平均）

5 防除対策

- (1) ほ場内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除を行う。
- (2) チャバネアオカメムシには黄色防蛾灯が有効とされている。
- (3) カメムシ類に適用のある防除薬剤を下表に示した。（令和3年度県病虫害雑草防除指導指針等掲載農薬）

なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し使用基準を遵守する。

表 防除薬剤例（○は適用有り、農薬登録情報 2021年9月1日現在）

薬剤名	IRAC コード	農薬登録の有無	
		カキ	カンキツ
キラップフロアブル	2B	○	
アクタラ顆粒水溶剤	4A	○	○
アルバリン又はスタークル顆粒水溶剤	4A	○	○
ダントツ水溶剤	4A	○	○
モスピラン顆粒水溶剤	4A	○	○
アディオン乳剤	3A	○	○
アグロスリン水和剤	3A	○	○
アーデントフロアブル	3A	○	
テルスター水和剤	3A	○	○
テルスターフロアブル	3A	○	○
ロディー乳剤	3A		○

神奈川県農業技術センター
 病虫害防除部
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333
 FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>